



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月23日

上場会社名 キヤノン電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7739 URL <https://www.canon-elec.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)酒巻 久
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)石塚 巧 (TEL)03(6910)4111
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	54,394	△19.3	3,757	△42.9	3,890	△39.1	2,843	△42.1
2019年12月期第3四半期	67,439	△0.6	6,585	△15.4	6,392	△19.9	4,915	△16.5

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 2,623百万円(△46.9%) 2019年12月期第3四半期 4,940百万円(△22.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	69.63	—
2019年12月期第3四半期	120.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	114,821	96,971	82.4
2019年12月期	115,237	95,348	81.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 94,634百万円 2019年12月期 94,181百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2020年12月期	—	20.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 なお、2020年12月期の1株当たり期末配当金については未定です。

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,300	△15.5	4,300	△46.8	4,500	△44.3	3,550	△42.0	86.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期3Q	42,206,540株	2019年12月期	42,206,540株
2020年12月期3Q	1,356,269株	2019年12月期	1,372,440株
2020年12月期3Q	40,843,805株	2019年12月期3Q	40,824,618株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

2020年12月期の1株当たり期末配当金につきましては、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き不透明であり、今後の市場動向を見据えたうえで公表する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 事業の種類別セグメントの状況	2
(3) 財政状態に関する分析	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2020年第3四半期の世界経済・日本経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、引き続き経済活動が抑制され、極めて厳しい状況が続いています。

当社グループでも、新型コロナウイルス感染症の影響により販売数が減少したことから、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は543億94百万円（前年同期比19.3%減）、連結経常利益は38億90百万円（前年同期比39.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億43百万円（前年同期比42.1%減）となりました。

なお、宇宙関連分野におきましては、当社製の超小型人工衛星「CE-SAT-II B（シーイー・サット・ツービー）」の打上げを近日中に予定しており、運用開始に向けた準備を進めています。また、運用開始から3年が経過した「CE-SAT-I（シーイー・サット・ワン）」は現在も実証実験を順調に進めており、地上の高精細画像を日々撮影しております。今後の衛星本体、撮影画像、内製コンポーネントの外販等に向けて、事業化の準備を着実に進めております。

当社子会社のスペースワン株式会社では、和歌山県串本町で日本初の民間企業が所有するロケット打上げ射場の建設を進めており、2021年度中の小型ロケット打上げサービス開始を目指しております。

(2) 事業の種類別セグメントの状況

コンポーネントセグメントにおきましては、デジタルカメラ市場は、スマートフォンのカメラ機能の充実により厳しい状況が続いているほか、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、売上は減少しました。レーザープリンター・複合機向けのレーザースキナーユニットも、新型コロナウイルス感染症の影響で売上は減少しました。なお、ベトナム子会社ではプリンターの新製品の販売が好調に推移し、売上が増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は289億33百万円（前年同期比19.7%減）、営業利益は43億47百万円（前年同期比25.6%減）となりました。

電子情報機器セグメントにおきましては、スキナー製品関係では、日本国内や中国では販売が好調に推移しましたが、米国や欧州で新型コロナウイルス感染症により販売が低迷し、売上は減少しました。ハンディターミナル関係では、販売が前年を上回ることができず売上は減少しましたが、新製品のモバイルプリンター「BP-F400」とスキナー一体型の小型ハンディターミナル「PRea ST-150」の発売に向けて準備を進めています。レーザープリンター関係では、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により一部機種で生産が滞り、売上は減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は182億36百万円（前年同期比21.8%減）、営業利益は18億96百万円（前年同期比27.8%減）となりました。

その他のセグメントにおきましては、情報関連事業は、情報セキュリティ対策ソフト「SML」でテレワーク向け分析パッケージの開発、提案を進めたほか、学校向け教務管理システム「SCHOOL AID（スクールエイド）」、顧客情報管理システム（CRM）等の受注活動を積極的に展開しましたが、売上は減少しました。環境機器事業は、小型電動射出成形機の販売が昨年を下回りましたが、1月に発売した歯科用ミリングマシン「MD-500」の販売が堅調に進んでおり、売上は増加しました。医療関連機器では、薬剤分包機の売上が昨年を下回り、売上は減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は72億23百万円（前年同期比10.6%減）、4億11百万円の営業損失となりました。

(3) 財政状態に関する分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,148億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億16百万円減少しました。流動資産は733億55百万円となり、23億4百万円減少しました。固定資産は414億65百万円となり、18億88百万円増加しました。うち有形固定資産は356億52百万円となり、19億66百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は178億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億39百万円減少しました。流動負債は133億84百万円となり、33億22百万円減少しました。固定負債は44億65百万円となり、12億83百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は969億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億23百万円増加しました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、2020年7月22日に公表いたしました連結業績予想から修正を行っております。詳細につきましては、2020年10月23日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,282	24,582
受取手形及び売掛金	23,140	19,518
リース投資資産	654	539
商品及び製品	1,270	1,362
仕掛品	4,216	5,184
原材料及び貯蔵品	177	167
短期貸付金	23,000	20,000
その他	1,918	2,001
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	75,660	73,355
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,755	10,313
機械装置及び運搬具(純額)	3,003	2,905
工具、器具及び備品(純額)	3,001	3,113
土地	15,907	15,917
リース資産(純額)	15	5
建設仮勘定	1,003	3,396
有形固定資産合計	33,686	35,652
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,895	1,924
繰延税金資産	1,550	1,634
その他	748	623
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,194	4,183
固定資産合計	39,577	41,465
資産合計	115,237	114,821

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,637	9,162
電子記録債務	563	436
リース債務	212	206
未払費用	1,335	815
未払法人税等	1,081	240
賞与引当金	488	1,510
役員賞与引当金	26	10
受注損失引当金	23	22
その他	2,335	980
流動負債合計	16,707	13,384
固定負債		
長期借入金	-	2,100
役員退職慰労引当金	221	204
退職給付に係る負債	2,480	1,807
繰延税金負債	24	21
その他	455	331
固定負債合計	3,181	4,465
負債合計	19,889	17,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,969	4,969
資本剰余金	9,602	9,602
利益剰余金	83,185	83,579
自己株式	△2,547	△2,521
株主資本合計	95,210	95,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	352	273
為替換算調整勘定	337	115
退職給付に係る調整累計額	△1,718	△1,384
その他の包括利益累計額合計	△1,028	△995
非支配株主持分	1,166	2,337
純資産合計	95,348	96,971
負債純資産合計	115,237	114,821

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	67,439	54,394
売上原価	52,949	42,465
売上総利益	14,490	11,928
販売費及び一般管理費	7,904	8,171
営業利益	6,585	3,757
営業外収益		
受取利息及び配当金	56	65
助成金収入	15	150
その他	29	45
営業外収益合計	101	260
営業外費用		
為替差損	289	125
その他	5	2
営業外費用合計	294	128
経常利益	6,392	3,890
特別利益		
固定資産売却益	13	0
投資有価証券売却益	-	24
特別利益合計	13	24
特別損失		
固定資産除売却損	10	6
新型コロナウイルス感染症による損失	-	393
特別損失合計	10	400
税金等調整前四半期純利益	6,394	3,514
法人税、住民税及び事業税	1,902	1,123
法人税等調整額	△235	△198
法人税等合計	1,667	924
四半期純利益	4,726	2,589
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△189	△254
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,915	2,843

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	4,726	2,589
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	△78
為替換算調整勘定	△164	△222
退職給付に係る調整額	410	334
その他の包括利益合計	213	33
四半期包括利益	4,940	2,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,129	2,877
非支配株主に係る四半期包括利益	△189	△254

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	36,034	23,325	59,359	8,080	67,439	—	67,439
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	299	661	961	307	1,269	△1,269	—
計	36,334	23,986	60,321	8,387	68,708	△1,269	67,439
セグメント利益 又は損失(△)	5,841	2,626	8,467	△2	8,465	△1,880	6,585

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売、ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	28,933	18,236	47,170	7,223	54,394	—	54,394
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	372	451	824	219	1,043	△1,043	—
計	29,306	18,688	47,994	7,442	55,437	△1,043	54,394
セグメント利益 又は損失(△)	4,347	1,896	6,243	△411	5,832	△2,074	3,757

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売、ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。